

歴博くらしの植物苑だより

第12回『日本の植物文化を語る』2月24日(土) 13:30～ 本館講堂

「古代植物文化史一心と体を支えた植物たち」 辻誠一郎 (東京大学)

第96回『くらしの植物苑観察会』3月24日(土) 13:30～ くらしの植物苑

「梅と桃と桜」 澤田和人 (本館研究部情報研究系)

今週の見どころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

今が見ごろ

サザンカ・ツバキ：ハルサザンカ・ヒメサザンカ・ヤブツバキ・ヤクシマツバキ・侘助

ウメ：唐梅・白梅 ロウバイ：ソシンロウバイ ミツマタ：ミツマタ・ニオイミツマタ

マンサク：シナマンサク・ベニバナマンサク

草本 フクジュソウ、スイセン、ナバナ

次回企画展 季節の伝統植物『伝統の桜草』

4月17日(火) から5月6日(日)

マンサクの花の構造

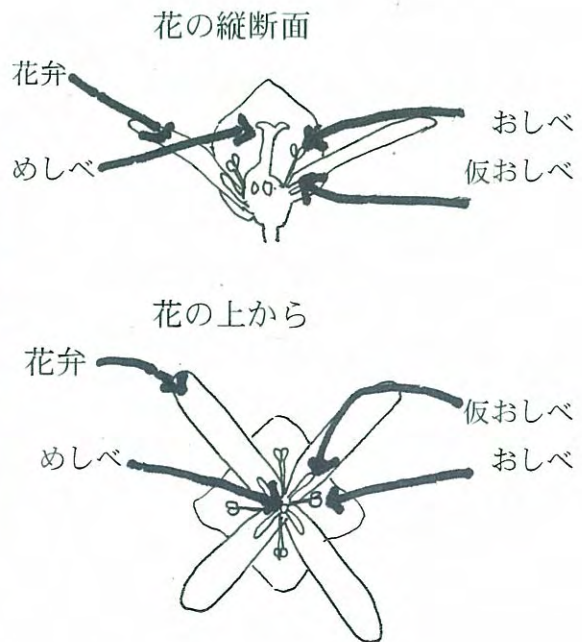
植物苑には、シナマンサクと園芸品種のアカバナマンサクが咲いています。

マンサク科は、日本では本州の太平洋側、中国、四国、九州の分布します、若枝や葉に星状毛があり、葉は単葉で、互生し、托葉があります。花は始めは巻いていますが、だんだんと開き線形になってきます。

花の構造を見て見ましょう。



シナマンサク



ヤクシマツバキ“リングツバキ”(ツバキ科ツバキ属)
九州地方南部、屋久島などに分布するツバキで、
花は母種のヤブツバキと変わらないが、大きな
果実が熟するとまるでリンゴのようにみえるの
でリングツバキもいわれます。



ツバキ (雲龍椿)

ツバキの園芸品種が咲いてきました。写真は雲龍
椿という品種です。この雲龍という名は、枝ぶり
をよく見てください。うねうねとした枝がこのツ
バキの特徴です。



ほかには苑内最大花の“明石潟” 侘助の系統をもつ
“有楽”、香りのあるヒメサザンカ、展示温室にある
ハルサザンカなどツバキ属の花を御覧下さい。

コブシ (モクレン科モクレン属)

コブシの花芽が大きくなってきました、長い軟毛に
覆われ花芽です。輪状の托葉痕が目立ちます。写真
は本館入り口のコブシですが、苑内の木もたくさん
の花芽を付けています。



シデコブシ (モクレン科モクレン属)

自生は東海地方の海岸地域で東海丘陵要素の樹木で
す。花色には個体差があり、白から濃い桃色まであ
ります。長枝と短枝の花芽が少し異なります。葉芽
には托葉痕が見られます。

